



2011年8月発行

暑中お見舞い申し上げます

歌劇 「トゥーランドット」 音楽稽古真っ最中

2012年3月10日(土)・11日(日) プッチーニ作曲 歌劇【トゥーランドット】公演に向けて着々と準備が進められています。

『四六時中 私はいつも<トゥーランドット>の音楽を思っている。

それは私の心から安らぎを取り去った』と巨匠プッチーニが精魂を傾け、最後にして最高の名作と言われる大作に、合唱団も、管弦楽団も、猛暑、節電の中稽古に挑戦中です



合唱団より

今回のトゥーランドット本公演日は、丁度東日本大震災の1年目となります。練習を始めてすぐに震災があり会場が使えない事もありました。今は歌えることに感謝をして、音取り、曲想、暗譜にと励んでおります。第一幕が難しく、音が苦(音楽)の所もありますが、連日の猛暑にも負けず、新団員も一緒になって頑張っています。

来年3月10日、11日の公演をどうぞご期待下さい。

※音楽稽古とは 歌詞を発音に気を付けて読む。音程とリズムを間違えないで歌う。意味、状況を理解して歌う。暗譜(楽譜を見ない)で歌う。等の稽古です。



アミューオペラ「カルメン」が終了して5ヶ月が経ちました。

オーケストラ、舞台装置は無く、衣装は自前、ピアノを中心としたアンサンブルに演出と照明をつけるという、アミューオペラ形式として初めての試みでしたが、大ホールをほぼ満席にする事が出来ました。サポーターの皆さまのご支援に心から感謝致します。

オペラ愛好会より

立川オペラ愛好会主催「夢の饗宴・珠玉のオペラアリアの夕べ」は6月22日に開催されました。

8人の個性あふれるオペラ歌手たちの、独唱、二重唱、四重唱は、まさに競演。アミューたちかわ大ホールの満席のお客様の拍手喝采で、大いに盛り上がりました。

「立川をオペラの町に」の夢の一つ実現しました。

立川管弦楽団より

《立川管弦楽団 第61回 定期演奏会》

2011年11月6日(日) 14時開演

立川市市民会館(アミューたちかわ)大ホール

プッチーニ歌劇「トゥーランドット」より抜粋の演奏会形式で行います。

歌と合唱は来年3月の本公演の時のソリストと合唱団です。



お知らせ 予告

『一体なぜ、オペラは人々の心を惹きつけてやまないのでしょうか。』

幕が上がるとそこには、日常生活とはかけ離れた異空間が広がっています。舞台上に古代エジプトが出現する事もあれば、数百年前のヨーロッパの街角が現れる事も有ります。

マイクを通さない、歌手の肉声による歌声が、美しく着飾った貴婦人、紳士、騎士となって心に響いて来ます。同時に、オーケストラが奏でる伴奏や、間奏曲の素晴らしさにも心酔し、幕が下りてからも感動はすぐにおさまる事はありません』(砂川稔監修 オペラの魔力より)

さて、この様に素晴らしいオペラ上演をより堪能して頂く為に、今後オペラについての基本的知識、情報をお伝えするコーナーを設けたいと思います。皆さんからの質問にも答えて行きたいと思いますので、「こんな事、聞いてもいいの?」どうぞ迷わず、遠慮なくご投稿下さい。